

ダウバート(Daubert)について:連邦証拠規則についての情報

ダウバート基準とは？

ダウバート基準は、米国連邦裁判所の裁判官が、裁判で陪審員に提示される証言の専門家証人の信頼性を評価するプロセスを提供する。米国最高裁判所は、信頼できない専門家の証言が陪審員に提示されないように、事実審裁判所に対し、科学の重要な「ゲートキーパー」として行動するように要求している。

ダウバート基準を満たしていることを保証するプロセスとは？

- 事案が審理に付される場合は、原告または被告(請求を提起するかしくは防御する当事者)は、当該訴訟に関連する事項について証言する専門家を選定することができる。
- それぞれの側は、その専門家がある問題に関して信頼できる、かつ信ずるに足る証言をする資格があることを立証しなければならない。専門家は、その結論を詳述する「専門家報告」を作成する。
- 反対側は、いわゆる証言録取書について専門家に質問することができる。
- 専門家報告と証言録取書に基づいて、反対側は、裁判官に対し、専門家の証言案の一部または全部を除外するよう求めることができる。
- 裁判官は、当事者に準備書面における立場を概説するよう求めることにより、上記の決定を行うことができる。裁判官は、いわゆるダウバートヒアリング、つまり専門家候補者が両当事者から質問を受ける「ミニ審理」を主宰することもできる。
- ヒアリング後、裁判官は、専門家が審理で証言することができるか、または証言することはできるものの一定の制限があるか、証言することを許可されないかを決定する。
- このプロセスにより、陪審員は専門家として提示された人物から信頼できない証言を聞かないことが保証される。

証人が証言することを許可されるかどうかを評価するのに裁判官が用いる基準とは？

ダウバート基準では、専門家は**適格**でなければならず、また専門家の証言には**信頼性**と**関連性**の両方が備わっていなければならない。科学者だけでなく、すべての専門家が証言するにあたり上記の基準を満たしていなければならない。

- 専門家は、自らの知識、スキル、経験、トレーニングまたは教育に基づいて証言する**資格**を持っていないといけない。
- 専門家の証言は**信頼できる**ものである必要があり、主に以下の5つの要素によって評価される:
 - 1) 専門家の理論または手法は他の科学者によって検証されているか？ 検証することは可能か？
 - 2) その理論はその分野の他の専門家による「ピアレビュー」を受けているか？
 - 3) その理論によって間違った結果が生じる可能性はあるか？ または誤差の確率が高いのか？
 - 4) 一貫性を確保するために、その手法がどのように機能するかを管理する基準はあるか？
 - 5) その理論は科学コミュニティの中で一般に受け入れられているか？ または非主流の意見であるのか？
- 専門家の証言は事案の議論に**関連性**があり、かつ陪審員が証拠を理解するか、または決定を下すのに役立つなければならない。裁判官は、時間を浪費したり、事案と関連のない情報で陪審員を混乱させたりすることを望まない。
- また、裁判所は、専門家の理論に推測が含まれているかどうか、専門家がその意見を抱いている期間、専門家がその意見を形成する前に別の説明を検討したかどうかについて考慮する。

これはタルカムパウダーに関する連邦の広域係属訴訟(multi-district litigation: MDL)にどのように関連しているのか？

Johnson & Johnson はタルカムパウダーに関する連邦の広域係属訴訟を担当する裁判官に対し、原告の多数の「専門家証言」を除外するように求めるダウバートモーションを提出した。タルカムパウダーが卵巣がんを引き起こすかどうかという問題に関する彼らの証言は信頼できないからである。

2019年7月、裁判官は数日間にわたりダウバートヒアリングを開催し、これら専門家の一部が証言し、反対側の反対尋問を受けた。2019年10月7日、Johnson & Johnson と原告は、ヒアリング後の報告書を提出した。

裁判官は、ヒアリングとヒアリング後の報告書を通じて、専門家の理論がダウバート基準を満たしているかどうかを決定する予定である。

決定の時期は裁判官の裁量による。